

各位

2020年2月21日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

**アプリックスと子会社の SMC がアウトバウンドコールセンター向け CRM システム開発などを
手掛ける株式会社アセンドと次世代車載型映像記録装置関連サービスなどの協業について合意
～SMC はアセンドのクラウド型 CRM システムの OEM 提供についても合意～**

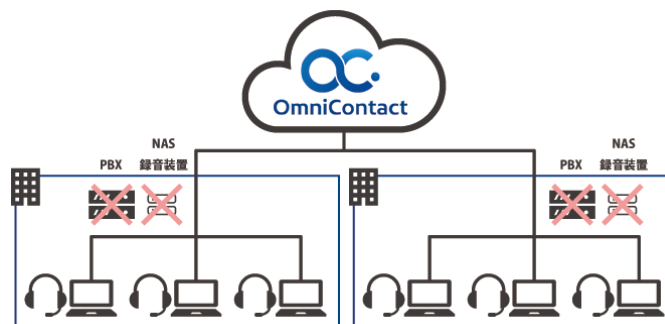
IoT (Internet of Things) 製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:根本忍、以下「アプリックス」と)と子会社のスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社(以下「SMC」)は、独自のシステム開発、データベース、リサーチやコールなどを中心とした幅広いサービスを提供する株式会社アセンド(以下「アセンド」と)、次世代車載型映像記録装置およびその関連サービスなどの協業について2020年2月に基本合意したことをお知らせいたします。

アプリックスグループは、本日2020年2月21日にお知らせ(※)したとおり、「ソリューション事業」の取り組みの一つとして、LTE データ通信機能を搭載した次世代車載型映像記録装置関連サービスの電話発信システムの開発について、オートコールによる電話調査や、IVR(自動音声応答システム)を用いた電話業務の自動化などの電話発信システム開発などに強みを持つアセンドと、アプリックスおよび SMC が三者間にて協業合意しました。

(※)詳細については、本日付けプレスリリース「アプリックスと子会社の SMC が LTE データ通信機能を搭載した次世代車載型映像記録装置関連サービスの提供を2020年5月より開始～SMC の IoT 専用 SIM 「unio™(ユニオ)」を使用した新たな IoT ソリューションが誕生～」をご参照ください。

また、この協業を契機に、アセンドが独自開発および提供するアウトバウンドに特化したクラウド型 CRM システム「OmniContact」(オムニコンタクト)を SMC が取り扱うことについても合意しました。SMC は、アセンドより OEM の形で「OmniContact」の供給を受け、それを SMC がアセンドのインバウンド向け業務委託先企業に独自ブランドにて展開を行う予定です。また、アプリックスとしては、アセンドの主にクラウドシステムに対して、受託開発案件で培ったクラウド開発の経験や知見を技術やサービスという形で提供してまいります。

<「OmniContact」(オムニコンタクト)の運用イメージ>



アプリックスと SMC は、今回の次世代車載型映像記録装置関連サービスの提供のみならず、今後もアセンドとの協業を積極的に推し進めていき、アセンド、アプリックスおよび SMC の顧客に対してより利便性や安全性の向上が実現するような製品・サービスなどを提供してまいります。

以上

■株式会社アSENDについて

オートコールによる電話調査や、IVRを用いた電話業務の自動化(RPA)、コールセンター向けのCRMシステム等のシステム開発、営業や販促などのコールセンター業務、オフィスやコールセンターのファシリティ等、当社独自のシステム力・マーケティング力を駆使したIP電話を活用した幅広いサービスをご提供しています。

アSENDのwebsite:<https://www.ascend-corp.co.jp/>

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<https://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<https://business.aplix.co.jp/>

Facebook公式ページ:<https://www.facebook.com/AplixCorporation.official/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<https://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。